

工藤篤子メールマガジン42号 2004年1月19日

●傲慢の罪からお守りください」 ●傲慢の罪からお守りください」

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます！

10日、無事、ハンブルクに戻りました。
ハンブルクは北ドイツ特有の雨と風の暗い毎日ですが、久々に我が家に戻ることができた安堵感は何ともいえません。

しかしながら、30cmほど積み重なっていた郵便物の整理には、まる2日を要しました。

その中に、テロによる傷害保険に入るようにとの勧誘の手紙がありました。ヨーロッパでも、テロへの緊迫感が少しずつ濃くなってきているようです。

もうひとつは、素晴らしいニュースのお便りでした。夏にダルムシュタットのマリア福音姉妹会でお会いした未信者の日本人留学生の方が、その後日本へ帰り、地元の教会で洗礼を受けられたとのこと。神様の素晴らしい導きに感謝を捧げました！

写真：ゴスペル・ワークショップ 2003. 12. 30(札幌)



●傲慢の罪からお守りください」

ところで、ハンブルクに戻ってから、教会の姉妹たちと何度か祈る機会が与えられました。すると必ずと言っていいほど、皆「Atsuko をこれからも傲慢の罪から守ってください。もっと謙遜にしてください。」と加えて祈ってくれました。彼女たちは、私が日本で賛美活動をしている間も、日本人の救いの祈りに加えて、私のためにこのように祈ってくれていたそうです。傲慢は、人目につく奉仕をする者が最も陥り易い罪であり、もし私が傲慢になれば、主のご栄光を消してしまうこととなります。幾度も傲慢の罪が芽を出し、そのたびに悔い改めに導かれながら、日本での賛美伝道活動が守られてきたのは、彼女たちがこのように祈ってくれていたからなのだと感謝で一杯になりました。皆さんも、この祈りを祈禱課題に加えていただければ感謝です。

●「やすかれ、わが心よ」(賛美歌298番)

昨年ご報告しきれなかったことですが、12月30日に札幌のゴスペル企画が主催したゴスペル・ワークショップでのコンサートに、飛び入り参加いたしました。ニュージャージーのゴスペル・グループ「プロヴィナンス」と共に、ワークショップに参加した150名ほどのマス・クワイアがすべて英語で賛美しました。その中で、私が、Be still, My soul 「やすかれ、わが心よ」を日本語のソロで賛美させていただきました。

プロヴィナンスがコーチということで、何か学ばせていただきたいと、前日のワークショップにこっそり行ったのですが、私の姿を見たゴスペル企画代表の波多さんとミュージック・コーディネーターの大山さんから、是非「やすかれ、わが心よ」をソロで歌って欲しいと言われたのです。一瞬躊躇したものの、これはい

つかプログラムに載せたいと思っていた心の賛美歌なのだと思います瞬間、「私でよければ」とOKの返事をしていました。

安かれ、わが心よ
主イエスは共にいます
痛みも苦しみを
雄々しく忍び耐えよ
主イエスの共にませば
耐え得ぬ悩みはなし

この曲に出会った時、「主イエスが共にいらっしゃれば痛みも苦しみもなくなりますよ」、というのではなく、「痛みも苦しみも雄々しく耐え忍びなさい、主イエスがいらっしゃれば、耐えきれない悩みなどないのだから」、と歌っているのに、感動したのを思い出しました。その後、私はリュウマチの痛みで苦しんでいた頃、この歌に励まされたのです。また、主の導きが見えなくて悩んでいた時、敬愛する姉妹から3つの言葉(単語)をいただきました。Durchhalten (耐え忍ぶことが) ist (です) alles (すべて)。(耐え忍ぶことがすべてです)。この時もやはりこの歌を思い出し、励まされました。

ドイツ語の原詩では、4行目の後に「神はすべてを最善に導いてくださるお方だから。」と歌っています。確かに神は、私が肉体的な痛み、霊的な暗闇をも耐え忍ぶことを通して、固い心を砕き、癒し、光に導き、すべてを最善に導いてくださったのです。12月30日は、プロヴィナンスとゴスペル・マス・クワイアの皆さんと共に、私の証しを歌で歌わせていただいた、感謝な一日となりました。

●お祈りください

1. 2004年度の工藤篤子音楽ミニストリーズの働きが祝され、さらに主に用いられますように。
2. 2月9日、スペインの北はナヴァーラ地方にあるパンプローナ大学からの依頼で、フランス歌曲のレクチャー・コンサートをします。久々のフランス歌曲で少し緊張しています。フォーレ、ドビッシー、フランク、デュパルク、リストなどのフランス歌曲を歌います。これから、曲さらいと暗譜にとりかかります。また、スペインで出会う人たちに福音の種を蒔くことができますようにお祈りください。
3. 今回のヨーロッパ滞在では、できる限り、みことばの学びと祈りの時を持ちたいと願っています。どうぞそのためにもお祈りください。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

そして、2004年が、皆様にとって主の祝福と恵みに満ちた一年でありますように！

工藤篤子